

外観



本館を建替え、新オープン。東京タワーや増上寺に程近いロケーションを誇り、1Fレセプション、ステイキレストラン、2F和体感サロン、2F～9Fに全70室の客室フロアで構成される。

和体感サロン SAKURA



和を体感できる場として、2Fにサロンを設置。ホテルスタッフが講師となり、折り紙・習字・招き猫絵付けなど、毎日様々な日本文化を体感いただけるプログラムを宿泊客に提供している。

コンフォートツイン レイアウト



コンフォートツインルームのバスルームとトイレは、別室設計。外国人宿泊者に、湯船と洗い場を持つ日本式の風呂文化を楽しんでいただくために、バスルームのバスタブに、湯をはって寛げる設えとなっている。

レセプション



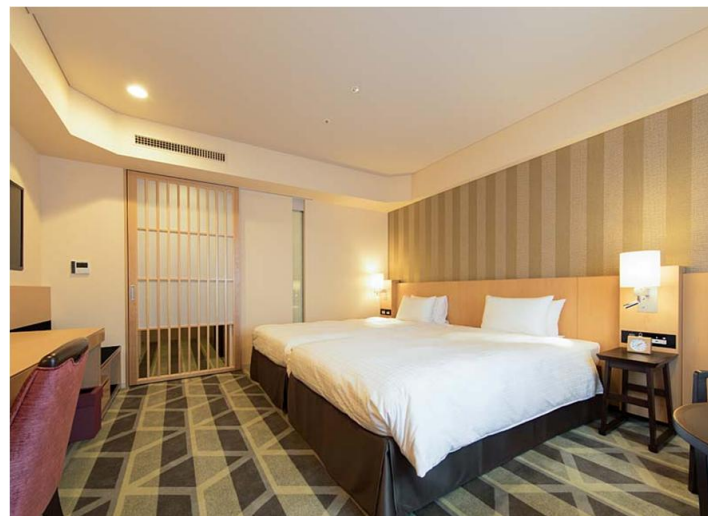
国境線を記していない全長1.7mを超えるオリジナル地球儀「ONE WORLD (制作: 渡辺教具製作所)」を設置。地球儀を眺めつつ語らうことで、お客様に平和な時間を過ごして頂きたいとの想いを込めた。

客室フロアサイン



和を感じられるように、木製の土台にサインを掲示している。また、洗濯室などでは、外国人宿泊者が見てすぐに理解し迷うことがないように、イラストで、施設内の設備を掲示している。

コンフォートツイン 全体



広さ30㎡の客室は、色・柄・照明など和のテイストを取り入れ、落ち着いた感のある上品な空間。ベッドルームとバスルームは障子の間仕切りにより空間を分離。長期滞在でも快適な空間を提供している。

コンフォートツイン ユニットバス



壁・床・エプロンに大判タイルを用いた高級感のある仕上げ。天井照明やカウンター下の収納など宿泊客の快適性にこだわった仕様となっている。一般欧米人の体型を想定し、洗面器設置高さは85cmの設定。

インテリアテイスト



ユニットバスFIX窓・アメニティのパッケージなどを和柄「麻の葉」模様で統一。さりげないおもてなしの心が散りばめられた和のくつろぎを演出している。

ユニバーサルルーム ユニットバス



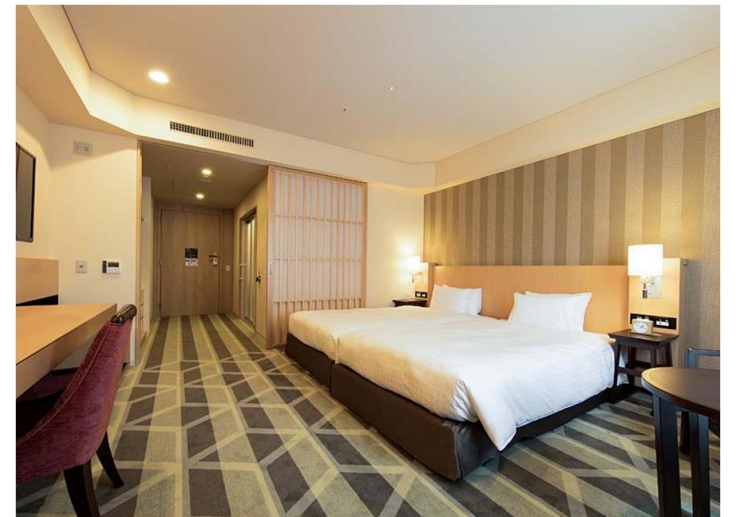
1628サイズのユニットバスを採用。オールインワンのユニバーサルデザイン設計。一般客室と同じ内装タイルで、高級感がある設えとなっている。

コンフォートツイン トイレ



2名以上の宿泊者配慮として、トイレは別室設計となっている。照明は感知式で、和のテイストが感じられる和紙を用いた意匠。

ユニバーサルルーム 全体



ユニバーサルルームは、コンフォートツインルームと同仕様の落ち着いた感のあるインテリア。客室ドアは、車いす使用者が操作しやすい自動ドア仕様となっている。

ユニバーサルルーム ユニットバス



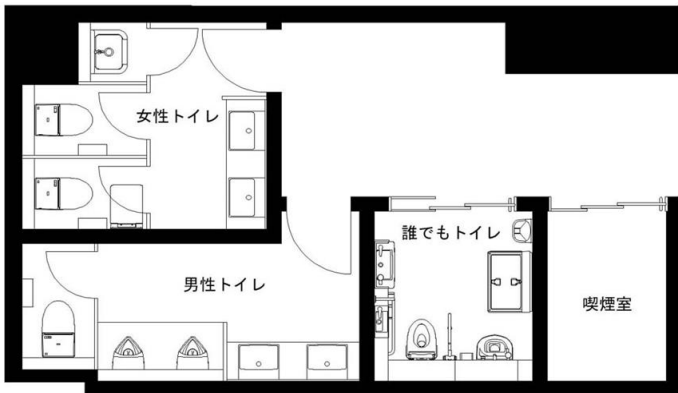
車いす使用者の利用に配慮し、洗面カウンター下は一般客室とは仕様を変えたオープンタイプ。天井照明は、一般客室と同様の設えとなっている。

ユニバーサルルーム ユニットバス



ユニバーサルルームのバスルームは、浴槽に入る際など入浴中の安全性に配慮し、腰掛スペースのあるバスタブを設置している。シャワーヘッドはクリックシャワー仕様（メックタイプ）。

パブリックトイレ レイアウト



1Fは、レセプションとステークレストランで構成。パブリックトイレは、宿泊客以外にもレストラン客が利用できるように、男女トイレと誰でもトイレを設置している。

男性トイレ 大便器



客室と同じく、デザイン性の高いローシルエット型のウォシュレット一体形便器を採用している。

女性トイレ 全体



女性トイレの空間も、男性トイレと同仕様の内装で、シックで落ち着いた空間となっている。

パブリックトイレ 入り口・サイン



1Fの誰でもトイレ、男性トイレ、女性トイレの入り口。誰でもトイレは、トイレの設備がひと目で分かるサインを掲示している。

誰でもトイレ



誰でもトイレは、車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなど、さまざまな使用者に対応できる設備を完備している。

女性トイレ 洗面器



上質感を漂わせるカウンター素材を選定。衛生面に配慮したノンタッチタイプの自動水栓は、水の止め忘れもなくなり節水効果が図れる。

女性トイレ 大便器



大便器ブースの1ヶ所には、女性の着替えや荷物置きなどの利用に配慮し、フィッティングボードを設置している。

男性トイレ 全体



男性トイレ空間は、ダークブラウンの木目とベージュを基調とした、シックで落ち着いた空間となっている。

男性トイレ 小便器



床の清掃性や節水性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。

建築概要

名 称	芝パークホテル151(いちごいち)
所 在 地	東京都港区芝公園1丁目5番10号
施 主	株式会社芝パークホテル
設計・施工	株式会社安藤・間
竣 工 年 月	2016年7月

水まわりの特長

<建替えの経緯>
1948年創業の老舗ホテル。当初より、海外からのお客様に愛されてきたが、2016年、本館建替えを実施し、「芝パークホテル151(いちごいち)」という訪日外国人客をメインターゲットとした新ブランドホテルを開業した。名称151には世界共通の数字を用い、憩い(=151)の場所であり、素数である151になぞらえて、ここでしか提供できないユニークなおもてなしを提供したいという想いが込められている。旅館のおもてなしを、ひとつの日本文化として、来日された海外からのお客様に、快適さの中で洗練された和の趣に包まれる、真のリラックスを体感していただけるホテルを目指している。

<水まわりの特長>
初めて来日する外国人宿泊客にも、安心して滞在いただき、自宅にいるかのように寛げる空間を目指して、設備は洋式を標準として、基本設計段階から器具の設置高さやサイズを検討、設計。その上で、日本らしいおもてなしを味わっていただくために、アメニティや備品を、和柄や和紙、日本古来色でトータルコーディネートした演出を行っている。芝パークホテルの経営理念である「おもてなしの心」が、きめ細やかに配慮されて「日本の我が家」と感じていただける空間となっている。